

品質工学に基づくパラメータ設計実践技術		定 員	30名
		受講料	8,000円/名
コース番号		実 施 時 間	
3M032		各日9:00～17:00	
訓 練 内 容	近年、製品の高度化・複雑化が進む一方、開発期間の短縮やコスト競争は激しさを増しています。この状況の中においても、市場での品質問題を未然に防止するためには、開発・製造検査工程における「品質の作りこみ」が極めて重要であり、これらの解決ツールとして「品質工学」の考え方が注目されています。座学だけでは理解しにくいパラメータ設計の内容を、研修ツールを使った実習により、実際にパラメータ設計の一連の流れを体験していただきます。実務においてパラメータ設計を活用することをめざして、わかりやすく実践的にパラメータ設計を習得します。 1. パラメータ設計の手順 3. 教材を使った品質工学の体験 5. チーム対抗競技会 2. 二段階設計法の確認 4. チューニング		
対 象 者	3M030「実験計画法を活用した生産プロセスと品質の改善（品質工学編）」又は3M031「機械設計のための品質工学活用技術」を受講された方、または同等の知識・技術をお持ちの方		
主な使用機器	パラメータ設計実習用教材、パソコン、パラメータ設計解析ソフトウェア	持 参 品	筆記用具、関数電卓
備 考	外部講師・部内講師（予定）		
受 講 者 の 声	座学だけではなくなんとなくぼやけていたことが、コロボ君の実習で具体的な事例として体験できたので理解が深まりました。		